



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SRAホールディングス

コード番号 3817 URL <http://www.sra-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鹿島 亨

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務部長

(氏名) 北井 誠

TEL 03-5979-2666

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	7,528	△4.1	316	45.7	363	36.0	245	506.7
23年3月期第1四半期	7,848	△0.0	217	△23.5	267	△13.7	40	△73.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 276百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △41百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.72	—
23年3月期第1四半期	2.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	27,814	15,220	54.7
23年3月期	26,451	15,522	58.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 15,205百万円 23年3月期 15,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	40.00	40.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,000	△1.8	880	10.1	880	2.9	520	31.2	37.57
通期	33,500	1.0	2,300	2.7	2,300	△3.1	1,355	3.1	97.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	15,240,000 株	23年3月期	15,240,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,400,230 株	23年3月期	1,400,230 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	13,839,770 株	23年3月期1Q	13,839,771 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
5. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で弱い動きが続いていましたが、減少していた生産、輸出が上向き始め、個人消費にも下げ止まりが見られるようになりました。

情報サービス業界におきましては、顧客企業のIT投資に対する慎重な姿勢は変わらず、厳しい事業環境が継続しました。

このような状況のもと、当社グループは、新たに策定した中期経営計画(注)の初年度として、同計画の経営戦略である、『構造改革の推進』と『自社IP製品ビジネスの本格推進と海外新規事業の取り組み』を推進しております。

具体的には、『構造改革の推進』として、営業力の強化による受注拡大、収益性の高い生産体制の構築および事業規模に見合うコスト構造への変革に取り組んでおります。

また、『海外新規事業の取り組み』については、長年にわたりビジネス実績のある欧米はもとより、成長市場である、中国、インド、ASEANへも積極的にビジネスを展開していく方針であり、中国ビジネス推進の一環として、システム開発、サーバー構築等の事業を行う新会社を中国上海に設立し、営業を開始いたしました。

(注) 中期経営計画(平成24年3月期～平成26年3月期)の概要

1. 経営目標

① 構造改革の推進

- ・既存事業における構造改革の推進による収益力の向上・強化

(最終年度目標: 経常利益率10.6%)

② 中長期成長戦略

- ・自社IP製品ビジネスの推進(最終年度目標: 連結売上高の10%確保)

- ・海外新規事業の取り組み(平成28年3月期: 連結売上高の20%確保)

※自社IP製品ビジネス: 知的財産権を有する自社ブランドの製品ビジネス

③ 営業利益、経常利益、当期純利益

- ・最終年度に過去最高益(平成20年3月期: 営業利益・経常利益41億円、当期純利益22億円)を超える

2. 経営戦略(経営目標を達成するための施策)

① 構造改革の推進

【開発事業、運用・構築事業】

- ・既存事業の基盤強化による収益力の向上

◎営業力強化による受注拡大

◎収益性の高い生産体制の構築

◎事業規模にあったコスト構造への変革

【販売事業】

- ・事業の拡大による成長性の確保

◎新規分野(製造・証券・自治体等)への拡大

◎新規ビジネスの推進(ソリューションビジネス[販売+サービス]、クラウドコンピューティング)

◎海外への展開(中国でのインフラ構築ビジネス等)

② 中長期成長戦略

◎自社IP製品ビジネスの本格推進

成長分野における自社IP製品の提供(海外・国内の先進的で収益性の高い製品を含む)

◎海外事業への取り組み

海外成長市場(中国・インド・ASEAN)での展開

以上の取り組みの結果、第1四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおり減収増益となりました。

売上高につきましては、販売事業は増加しましたが、開発事業および運用・構築事業が減少した結果、7,528百万円(前年同期比4.1%減)となりました。

損益面につきましては、工事損失引当金の減少とSRA AMERICA, INC.、株式会社A I T等のグループ会社の粗利益率の向上により粗利益が増加し、営業利益は316百万円(前年同期比45.7%増)、経常利益は363百万円(前年同期比36.0%増)となりました。また、四半期純利益は、関係会社株式評価損および投資有価証券評価損等の特別損失の大幅な減少により、前年同期実績の6.1倍の245百万円(前年同期比506.7%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の事業別の営業の状況は次のとおりです。

●開発事業

開発事業は、電力および製造向けが減少した結果、当事業の売上高は3,529百万円(前年同期比15.0%減)となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、大学関連ではほぼ横ばいでしたが、企業関連は顧客の内製化、受注単価の下落等で減少し、当事業の売上高は826百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社A I Tの機器販売が主に金融分野で堅調に推移し、さらに株式会社S R Aでパッケージ販売等が増加した結果、当事業の売上高は3,172百万円(前年同期比15.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が1,347百万円減少しましたが、投資有価証券からの振替等により有価証券が1,256百万円、商品が611百万円、仕掛品が415百万円それぞれ増加したため、流動資産は1,331百万円増加し、19,590百万円となりました。また、固定資産は投資有価証券が422百万円減少しましたが、無形固定資産が376百万円増加したこと等により31百万円増加し、8,223百万円となりました。この結果、資産合計は1,362百万円増加し、27,814百万円となりました。

一方、負債合計は買掛金が453百万円、賞与引当金が359百万円増加したこと等により、1,664百万円増加し、12,594百万円となり、純資産合計は配当金の支払等により、302百万円減少し、15,220百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月12日に開示しております「平成23年3月期決算短信」の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,940	8,185
受取手形及び売掛金	6,118	4,771
有価証券	1,504	2,760
商品及び製品	316	928
仕掛品	1,024	1,439
繰延税金資産	433	672
その他	922	841
貸倒引当金	△2	△9
流動資産合計	18,259	19,590
固定資産		
有形固定資産		
建物	314	318
減価償却累計額	△191	△199
建物(純額)	123	118
機械装置及び運搬具	561	562
減価償却累計額	△508	△513
機械装置及び運搬具(純額)	52	49
土地	0	0
その他	100	101
減価償却累計額	△66	△67
その他(純額)	34	33
有形固定資産合計	211	202
無形固定資産		
その他	629	1,006
無形固定資産合計	629	1,006
投資その他の資産		
投資有価証券	4,252	3,830
繰延税金資産	1,579	1,546
差入保証金	460	460
その他	1,145	1,275
貸倒引当金	△13	△14
投資損失引当金	△73	△82
投資その他の資産合計	7,351	7,015
固定資産合計	8,192	8,223
資産合計	26,451	27,814

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,986	2,440
短期借入金	1,901	1,969
1年内償還予定の社債	300	300
未払費用	430	658
未払法人税等	489	286
未払消費税等	296	133
賞与引当金	602	961
役員賞与引当金	0	2
工事損失引当金	151	191
関係会社整理損失引当金	14	14
資産除去債務	—	3
その他	698	1,552
流動負債合計	6,872	8,513
固定負債		
退職給付引当金	3,606	3,637
役員退職慰労引当金	444	435
負ののれん	2	1
その他	2	5
固定負債合計	4,057	4,080
負債合計	10,929	12,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	10,963	10,654
自己株式	△894	△894
株主資本合計	15,552	15,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239	261
為替換算調整勘定	△309	△299
その他の包括利益累計額合計	△69	△38
新株予約権	39	14
純資産合計	15,522	15,220
負債純資産合計	26,451	27,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,848	7,528
売上原価	6,704	6,285
売上総利益	1,143	1,242
販売費及び一般管理費	926	925
営業利益	217	316
営業外収益		
受取利息	12	28
受取配当金	13	23
投資有価証券割当益	21	—
その他	19	12
営業外収益合計	67	64
営業外費用		
支払利息	9	7
為替差損	—	4
証券代行事務手数料	3	2
その他	4	2
営業外費用合計	17	17
経常利益	267	363
特別利益		
新株予約権戻入益	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
投資有価証券評価損	51	1
関係会社株式評価損	86	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13	—
投資損失引当金繰入額	—	9
その他	3	1
特別損失合計	155	13
税金等調整前四半期純利益	112	379
法人税、住民税及び事業税	238	374
法人税等調整額	△166	△240
法人税等合計	72	134
少数株主損益調整前四半期純利益	39	245
少数株主損失(△)	△0	—
四半期純利益	40	245

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39	245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	21
為替換算調整勘定	△42	9
その他の包括利益合計	△81	31
四半期包括利益	△41	276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40	276
少数株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	4,150	940	2,757	7,848	—	7,848
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	46	109	159	△159	—
計	4,153	987	2,866	8,007	△159	7,848
セグメント利益	309	198	170	678	△461	217

(注) 1. セグメント利益の調整額△461百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	3,529	826	3,172	7,528	—	7,528
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	58	100	166	△166	—
計	3,537	884	3,272	7,694	△166	7,528
セグメント利益	358	125	178	663	△346	316

(注) 1. セグメント利益の調整額△346百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
開発事業(百万円)	3,986	80.0
運用・構築事業(百万円)	833	86.0
合計(百万円)	4,820	80.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

②仕入実績

当第1四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
販売事業(百万円)	2,797	152.5
合計(百万円)	2,797	152.5

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

③受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
開発事業	4,134	89.8	4,123	90.2
運用・構築事業	567	75.8	1,167	85.8
販売事業	3,840	159.1	3,670	159.9
合計	8,541	110.0	8,961	108.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

④販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 (%)
開発事業(百万円)	3,529	85.0
運用・構築事業(百万円)	826	87.9
販売事業(百万円)	3,172	115.0
合計(百万円)	7,528	95.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以上